



# おらほの消防団

今月号は、五所川原地区第1分団に所属する竹内裕哉さんにお話を伺いました。竹内さんは、災害対応だけでなく、各分団の消防団員で構成される纏(まとい)組に所属し、観閲式などで消防団の伝統である纏振りを披露するなど、幅広く活動しています。



【団員プロフィール】  
竹内裕哉 / 32歳 / 建設業  
五所川原地区第1分団団員・纏組  
活動歴12年

## 消防団の伝統「纏振り」を子どもたちに伝えたい。

### 消防団に入団したきっかけは？

祖父、父、叔父が消防団員の消防団一家で、20歳くらいの頃、家族に誘われて入団しました。

入団してからは、機器の点検、屯所の管理、訓練、火災への出動など、消防団として一般的な活動をしていましたが、わが家の消防団員は、皆が纏振りをしていたこともあり、5年程してから、纏組で活動するようにもなりました。



### 消防団員・纏組としての活動のやりがいとは？

消防団員としての災害対応にやりがいは感じますが、今は、纏振りをしたくて消防団員をしているようなものです。

纏は約10kgの重さがあり、振りかたや握りかたが何種類もあります。はじめは、ただ持っているのも大変ですが、色々な振り方を覚え、纏がきれいに花開くように振れるようになった時は面白みを感じました。

一人だけでなく、大人数で振るときは、皆で呼吸を合わせて同時に振り、息が合ったときは爽快です。

### 今後、どのような活動をしたいですか？


できるだけ纏振りを披露する場があればと思っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観閲式や無火災祈願祭など纏振りを披露する集まりが中止となりました。

平成29年度の立佞武多「纏」の運行時に纏振りを多くの人の前で披露したときは、歓声に励まされました。

今度は、纏振りに厄払いの意味を込め、少しでも多くの人の気持ちを盛り上げることができればと思います。

また、多くの子ども達の前でも披露できればと思います。消防団の伝統を、多くの子どもたちに伝えたいです。

**消防団で活動しませんか**  
安心して暮らすことができる地域づくりに興味がある方は、ご連絡ください。  
問い合わせ先 防災管理課 内線2142



**救急医療当番医** 診療時間 9:00~12:00 \*受診前に必ず各医療機関に電話で確認してください。

日程	病院名	電話番号	消防署救急病院 紹介電話 Tel34-4999
5月2日(日)	かねひらクリニック(旭町55-2)	Tel35-3167	
5月3日(月)	川崎胃腸科内科医院(敷島町56)	Tel34-3330	
5月4日(火)	増田病院(新町41)	Tel35-2726	
5月9日(日)	白生会胃腸病院(中平井町142-1)	Tel34-6111	
5月16日(日)	田町小山クリニック(田町4-5)	Tel34-3431	
5月23日(日)	かねひらクリニック(旭町55-2)	Tel35-3167	

**人口のうごき** 令和3年3月末 住民基本台帳 ( )内は前月比

総人口…52,823人(-260)	男…24,259人(-118)	女…28,564人(-142)	世帯数…25,588世帯(-14)
-------------------	-----------------	-----------------	-------------------